

感染症指定医療機関の長崎大学病院の医療関係者に向けて、感謝の気持ちを伝えようと、近くの長崎市坂本3丁目の市立坂本小(金子伸治校長、214人)は2日、校舎の屋上に「ありがとう♡長大病院」と書いた横断幕を掲げた。

同病院は、新型コロナウイルスの集団感染が発生したクルーズ船の陽性患者を受け入れていた。5月上旬に坂本地区の住民から「長大病院に向けて地域からできることはないか」と提案を受け、製作を開始。5年生30人がメッセージやデザインなどを相談し合い、6月下旬に完成した。

横断幕は縦約17m、横約9mのビニール製。緑色で書いた文字は児童の手書きで30人全員が筆を入れた。

病院側からメッセージが見える位置に掲げる。5年の黒田彩葉さん(10)は「病院の人たちは病気になるかもしれない中、頑張っている。横断幕を見て、元気を出してもらいたい」と話した。(酒井環)



「ありがとう♡長大病院」と感謝の気持ちを込めた横断幕を持つ児童 =長崎市立坂本小

# ありがとう♡長大病院

## コロナ対応に感謝の横断幕

坂本小児童

# 高校生がオンライン交流



## 長崎とハワイ

市民団体「高校生平和大使派遣委員会」などは7月19、26、8月2日の3日間、長崎と米ハワイ州の高校生によるオンライン学習交流会を初めて開く。本来は8月にハワイの高校生2人を招待する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止。2018年に始まった交流事業を継続させるため、初代ハワイ派遣高校生生和大使、安野伊万里さん(20)同志社大3年が企画した。

安野さんは18年2月にハワイへ派遣され、現地の高校生らと交流。互いの国の加害と被害の歴史を学び、対話する大切さを

被爆75年戦後

## 19日から 歴史学び、平和の懸け橋に

学んだという。同年8月、19年8月には、同委員会などがハワイの高校生を長崎、広島に招待している。

安野さんは現在、新型コロナウイルスの影響で大学がオンライン授業になったため、帰省中。招待事業の中止を知り、「今年は被爆75年の節目でもあり、ここでやめれば続けるのが難しくなると思つた」。そこでオンライン会議システムを活用した新たな交流の形を創出。「対話を重ね、平和の懸け橋になつてほしい」と後輩たちに期待を寄せた。

オンライン交流会は3日間とも午前10時に開始。両国の高校生が3人ずつ参加する。7月19日は互いの平和活動などについて意見交換。26日は被爆者の下平作江さん(86)の被爆講話などがあり、最終日の8月2日に平和アピール文を作成。6人が読み上げる動画も撮影し、文書と一緒に国連、ハワイ州政府、日本外務省に送付する予定。(熊本陽平)



サマールカメラを操作する田坂さん =長崎市元船町

「仕事を通じ、会社と社会に貢献しよう。朝礼時に社員が読み上げる『訓詞』は、こんな一節で締めくくられる。「社会に対して何ができるかを常に心掛けて」と力を込める。



## 体温感知で安心に貢献

アダチ産業営業開発事業部統括部長 田坂 龍吾さん(61) =長崎市元船町=

アダチ産業は1989年設立。空調機器や建築資材の販売と点検、駐車場事業などを手掛ける。新型コロナウイルスに伴う外出自粛で駐車場事業が落ち込んだが、主力の空調関連への影響は少なかったという。

取引先の病院を訪れた際、入り口で看護師ら3人が非接触型体温計を手に来院者の対応をしているの場面に会った。「自動で体温測定ができれば感染リスクを減らせる上、負担軽減にもなる。そして商機でもある。6月、新たな事業として、体温を感知するサマールカメラの販売を始めた。

同カメラは約1m離れた場所から1秒で体温を測定でき、発熱者を検知すると音声で知らせる。30人を同時に測定可能。病院のほかパチンコ店などとの問い合わせが多いという。「体温測定は水際対策の基本で、熱中症の未然防止にも使える。『新しい生活様式』の中、安全安心のお手伝いをしていきたい。コロナ禍の中、挑戦は続く。」(中村亮介)

## 野母町沖・定置網



定置網で取れたリュウグウノツカイ =長崎市野母町、のもぎき朝市(山下哲嗣撮影)

長崎市野母町沖約2000mの定置網に2日、幻の深海魚とされるリュウグウノツカイ1匹が掛かり、生きたまま水揚げされた。野母崎三和漁協の漁業者によると、午前7時ごろに網を引き上げたところ捕獲されていた。体長は約1.5m。生体はほとんど透明で、銀白色で、長く赤い背びれなどが特徴。生きて見つけたのも珍しい。網を引き上げた男性は「漁師歴35年で自分の網に入ったのは初めて。水揚げ後はいけすで生か

## 幻のリュウグウノツカイ捕獲

雲仙市市民宿泊補助 予約受け付け終了

市の宿泊施設支援策 雲仙市は2日、新型コロナウイルス感染症拡大で落ち込んだ市内宿泊施設への支援策として実施した、市民向け宿泊費半額補助(1人1泊当たり上限2万円)について、利用予約が予算上限に達する見込みとして、同日午後5時で新規の予約受け付けを締め切ったと発表した。(宮崎智明)

地域振興商品券21日から販売 諫早

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う諫早市の緊急経済対策の一環で、プレミアム付き商品券「いさばや地域振興商品券」が7月21日から9月30日まで販売される。使用期限は12月31日まで。

諫早商工会議所と市商工会でつくる実行委員会が事業主体。対象は7月1日現在、同市に住居のある人。市が各世帯主宛てに商品券購入引換券(はがき)を送付。市内20郵便局、JANAがさき県本店・支店、諫早観光物産コンベンション協会などで購入する。

商品券は30%のプレミアムを付け、1冊6000円分を5千円で購入。1人3冊まで購入可。同実行委に登録した市内店舗・事業所で使用できる。

問い合わせ先は▽購入引換券送付など▽市緊急経済対策室(電0957-22-3352)▽購入場所や使用店舗など▽諫早商工会議所(電0957-22-3332)▽市商工会本部(電0957-20-51510)。(高比良由紀)

デザイン・印刷・折込まで  
**まるごとチラシ**  
お得な折込プラン

「チラシの作り方がわからない。」「自分で作るの大変だし面倒だな…」といった方や「予算に合った効果的なチラシを出したい!」など、皆さまのご要望にお応えします。

デザインや印刷、新聞折込までの一括した発注ができます。

イベントの告知や求人広告、学習塾やピアノ教室の生徒募集などエリアをしぼって、ピンポイントで折込できるお得なチラシです。

デザイン・印刷・折込まで  
**ワンストップ!!**  
便利で経済的!!

折込チラシが全てコミコミ!  
1,000枚で ~~18,600円~~ **16,600円** (税込)

部数に応じた お得なプラン	折込料+印刷料金+デザイン(基本)+消費税 ※概算価格です ※その他両面や他サイズもございます	
	A4版	B4版
3,000枚	片面1色 36,700円	片面カラー 48,600円
5,000枚	39,500円	62,000円
10,000枚	72,600円	89,700円
30,000枚	166,100円	190,600円

**お!k1**

ご希望にあつた低料金設定  
デザインから印刷、折込までをご提供するプランです。ワンストップだから低料金で出来ます!

**お!k2**

エリアを指定した配布プラン  
県内発行部数No.1の長崎新聞グループだからできる「ピンポイント配布」。ターゲットを絞って効果的な配布が可能です!

**お!k3**

自由な折込日の指定  
ご希望の日に折込できます。告知や案内のタイミングを合わせた効果的なPRが可能です!

**お!k4**

定期的利用で知名度アップ  
低料金だから定期的なご利用が可能です。継続したPRにより知名度アップやブランディングが図れます!

まずはお気軽にお電話下さい。

本社 ● 〒854-0065 諫早市津久葉町99-45 TEL0957-25-6288

長崎営業本部 ● 〒852-8104 長崎市茂里町3-1 長崎新聞社7F TEL095-894-5345

佐世保支社 ● 〒857-1164 佐世保市白岳町100-5 TEL0956-34-7118 http://naga-ori.co.jp